

平成21年 11月 第284号

大代地区コミュニティ推進協議会
(編集部)
事務局：大代地区公民館
☎364-8442

ふれあい

〈掲載目次〉

- 「ねじりパン・バター作り」
体験を振り返る 1
- 夏の北アルプス山行 2
- お宅の消火器大丈夫ですか? 3
- 中区人物往来(二) 3
- 貞山運河周辺清掃行われる 3

- 大代地区コミュニティ
グラウンドゴルフ大会終了 3
- 大代の歩み(二十) 4
- ふれあい短歌(憂国特集) 4
- ふれあい俳句 4

「ねじりパン・バター作り」

体験を振り返る

大代西町内会長 伊藤 要

この頃は、日も短くなり、日増しに寒さが身にしみる季節となりました。

今年の町内会諸行事を振り返るとき、子ども達と一緒に仙台市広瀬川湖畔で行った「ねじりパン・バター作り体験学習事業」に参加をいただき、去る8月2日(日)に実施いたしました。参加した子どもさんから多くの感想が寄せられましたので紹介いたします。

初めてのねじりパン and バターづくり

中学1年 笹原 瑞季

8月2日、私は初めてのねじりパンとバターづくりを体験し、楽しい思い出ができました。

この2つは広瀬川の近くの土手で作りました。始めに小麦粉と牛乳、塩、砂糖を使い、ねじりパンのきじを作りました。みんなでもねじりパンのきじを作りました。

きじが出来たら竹のぼうに細くして、巻いていきました。あとは焼くだけなので、先にバターを作りはじめました。

ピンに材料を入れ、みんなで美味しくなるようにがんばって振りました。ところがなかなか固まらず、手が痛くなりました。やっとの事で、バターが固まり、ねじりパンを焼く事になりました。

ドラムカンがあつくなくて、その上

で竹の棒をくるくる回して、焼き目がつくまでドラムカンの上で回していました。焼き終わったからねじりパンにバターを付けて食べました。

バターはチーズみたいな味がしましたが、香りも良くとてもおいしかったです。とても良い体験が出来ました。来年もまた作りたいです。

楽しかったバター作り

中学1年 小野 月熙

ぼくは、パン作りと、バター作りを広瀬川で行いました。ぼくが楽しかったのは、バター作りです。

中学1年生が2人もいるのに最後にかんせいしました。でも最後までやりとげることができて良かったと思いました。そして、その出来たバターを作ったパンにぬって食べました。みんなで作った手作りの味は最高においしかったです。

パンとバター作り

中学1年 鈴木 令和

今日パンとバター作りをしました。緑地公園から出発しました。出発するときは、くもっていました。晴れました。

出発して一番後ろの席にすわっていました。つきひろくんといっしょに乗りました。話をしながら乗っていました。広瀬川に着いたときにセミのぬけがありました。そして作る時、川が流れて、気持ちよかったです。いざ作る時ぼくは、まず小

麦粉と牛乳をこねました。パン作りは、意外と簡単でした。コネコネと、パンきじをこねてそして砂糖、塩、バターを入れました。手が牛乳くさかったです。そして出来上がりました。

バターを作るときレモンとクリーム？みたいなのを入れてやりました。シヤカシヤカとふって作りました。作るときにぼくは、ものすごく大変だということに気が付きました。バター作りをなめては、いけないと思いました。何回ふっても完せいしません。ジュコジュコとやと音がしてもまだ出来上がりません。

ほかの班は、終わっているのに自分の班だけ一番おそいのは、ちよつぴりだけ悲しかったです。出来上がりました。感動でした。

焼いてから食べたときは、パンの味は、ぜんぜんしませんでした。こーゆーものは、おやつにびったりだと思えます。

パンを焼いてバターをぬって食べました。とてもおいしかったです。もう1回食べたかったです。

パン作りを終えて

中学2年 高田 万里香
8月2日大代西地区の夏季行事でパンを作りました。

私は、あまり料理をした事がないし、パンやバターを作るのは初めてで上手に出来るか心配でした。でもみんなで協力して作り上げたパンやバターは、とても上手に出

来おいしかったです。

パン作りを通して料理の楽しさがわかりました。これを機会に、家でも料理を作ろうと思えました。



夏の北アルプス山行

大代東町内会長 三浦 徳男

八月始め、北アルプスの中央部に登山に行ってきた。黒部ダムへの玄関口である扇沢から歩き始め約二十八・五kmを約二十六時間をかけ針ノ木岳から蓮華岳・不動岳から烏帽子岳と七座を縦走し、北アルプス日本三大雪渓（他は白馬と剣沢雪渓）の一つ針ノ木岳を登り、下りはこれも三大登り（他は、燕岳、鹿島槍）を下って、タクシーで扇沢に戻る計画であった。

前日夜高速道を走り四時間程度仮眠をして、初日は針ノ木小屋を目指し、歩き始めて一時間三十分、今年の針ノ木雪渓は雪は

少ないと聴いたが、他の雪渓より大分急勾配で六本爪のアイゼンをしっかりと食い込ませ一歩一歩時間をかけ慎重に登りつめた。二日目は尾根歩きが主で霧雨の中をゆつくり歩き一面に咲く花をカメラに収め小屋に着いた。その後、一時強い雷雨があったが夕方には天気になり、いつか登った槍ヶ岳・剣岳や立山連峰の山々を展望でき、その当時の楽しかったこと辛かった思い出がよみがえった。三日目、今回一番の危険を伴う難コースで、小屋は小屋は七十人程宿泊していたが、このコースに入ったのは四、五人の登山者だけ。四、五百mを下り又登り返すという所、岩稜の厳しい道には、ハシゴ、クサリ、ロープと難所が続く断崖絶壁、上の登山道に恐怖と緊張の連続と戦いながら、小屋に着いた時はすでに五時を過ぎていた。四日目は下りだけ、よくもこんな急斜面の所に登山道を・・・誰が思う程険しく長い登山道を四時間かけ下る。予約していたタクシー乗り場着いた時は疲れ果て安堵感と充実感でいっぱいだった。食事喉が通らないほど疲れもしたが、一方コマクサ、キンコウカ、クルマユリなどが真つ盛りと咲きほこっている花々に心が癒され、子育て中の雷鳥との出会いに心が和み、元気を貰い疲れを忘れ歩くことができた。

最近の小屋は、発電機が備えてあり蛍光灯の下で過ごすことが出来る。昔には考えられない事である。食事は夕食、朝食とも五時で消灯は八時頃が多い。ジュースは四

百円、五百ミリ位の缶ビール六百円でなぜかアサヒビールだけ。食事は揚げたての天ぷら等、ご飯みそ汁はおかわり自由で、メニューの説明をした小屋もあったほどの食事に出会えた。また掛け布団は羽毛でトイレはE.M菌で処理している事で特に気にならず、どの小屋も満室に近く、自分もその一人であるが中高年が八割以上でツアーでの登山者は女性が多い。小屋でのひと時には、共通の趣味を持つ人達と終わる事のない山の話が出来たこと、大町温泉郷の温泉に入り汗を流す事が出来たこと、遅れる自分を待ってくれたり、高速の渋滞遭いながらも往復一二〇kmを一人で運転してくれた相棒に感謝感謝。今まで数多くの山々を歩いた中で忘れる事のできない一つの山行であった。

お宅の消火器大丈夫ですか？

大代婦人防火クラブ会長 後藤 重子
 こんにちは、婦人防火クラブです。火災の発生しやすい時期になって参りました。皆様のお宅では火災警報機設置しましたか。各地で消火器の不具合が発表されております。当クラブでは今年度消火器の液交換又は購入希望の方には十一月中頃業者と連携して皆様のお役に立ちたいと思っております。家族の安全のためにも今一度点検しこの機会をご利用下さい。
 詳しいことは月末に皆様のもとにお届け致しますのでお近くのクラブ員に申し付け下さい。又引続き火災警報機の申し込みも受付ます。

中区人物往来(二) 中区小野菊郎

二回目は、大菊つくりの精を出しておられます鈴木弘さんです。平成十四年に渡邊七夫さんから教えを受け八年になります。植物は話をしません。日々の観察が欠かせません。葉の色はどうか。茎は伸びているか。食事の与え方が難しいところ。風が吹けば風除け、日が当たらなければ日向に出し、雨が降れば傘をさし、我が子以上に手をかけなければなりません。病気にもなります。処方箋は難しいです。苦労がある分開花したときは感無量です。何事にも変えがたい感情が湧きますと、鈴木弘さんは話されておりました。菊つくりは十一月冬至芽株分け、三月迄越冬苗の管理、四月冬至芽摘芯苗移植、五月挿し芽、以後鉢あげ定植柳芽処理つぼみ選定、輪台付け等年間を通して手をかけて育成します。この年間を通して土、肥料の心配は気を抜けません。



今年は、公民館、恵愛ホーム、貞山みよりの家、東小学校、東豊中学校、大代駐在所へ持参しました。ご鑑賞下さい。尚中区では、町内会事業として大菊つくりを開催して五年になりますが今年も十三名の方が菊つくりの精を出しております

貞山運河周辺の清掃行われる

環境美化部長 荒木 慶蔵

恒例となりました秋の貞山運河周辺作業は去る十月四日(日)早朝から六十名の方々のご参加で行われました。ご協力ありがとうございました。

大代地区コミュニティ

グラウンドゴルフ大会終了

去る十月三日(土)大代緑地公園におい

て和気あいあいの中開催致しました。

男性の部

優勝 鈴木国 義さん
準優勝 澁谷喜久三さん
第三位 佐藤松 雄さん
ブービー賞 西 幸 雄さん

女性の部

優勝 工藤 マサ子さん
準優勝 渡邊 孝 子さん
第三位 村上 政 子さん
ブービー賞 小野 くに子さん

大代の歩み (二十)

大代南区 渡邊 巖

大代の茶船について風土記には「小舟七艘」とあり、茶舟の所有者は藩に運上を差し出さねばならなかった。その代わり塩竈の港では旅人を受けて運賃を取っていた。また大代は街道に面せず旅客も少なかった。この茶舟を「沖買い」による魚の取引にも「手舟」として使用していた。

ところがこの茶舟も、藩主が八幡村から菖蒲田浜に出掛けるため舟入堀を渡る際には、茶船の渡世を中止して舳として提供しなければならなかった。

又、大代には『馬』が二十五頭いたが、大代はもちろん、湊浜・松ヶ浜・菖蒲田浜等の各浜に水揚げされた魚を積み仙台へ運ぶ「浜馬」が、夜明け前には決まって十頭〜二十頭と行列を作り、提灯を連ねて声高々と通り、舟入堀を馬諸共に渡し船で渡ったという。

貞享二年(一六八五)の布令には魚の他に材木についても塩竈荷揚げが定められていたが、十九世紀の文化・文政時代に入ると、塩竈の特権的地位は次第に実質的な後退を余儀なくされて、材木船のほとんどは蒲生や大代村に入るようになり、その中でも多分に大代揚げになっていったという。材木となれば陸揚げや陸上の駄送でもよい仕事になる筈である。

ところが塩竈の検断達は『塩竈の百姓は田畑も少なく、多分に駄賃に頼って露命を繋いでおり、今のままでは生活が成り立たない。大代村に入る材木船も全て塩竈へ着岸するように命じて欲しい』と願い出た。

しかし、藩の方では陸揚げ地から仙台城下までの運送駄賃の違いがあり、安上がりで済む大代村の材木荷役は仙台城下の材木問屋の指示を後ろ楯として塩竈検断の申し出を認めなかった。

大代村の番所でも大代村の材木運輸を当然の事と認めていたのである。 続く

ふれあい短歌 (憂国特集)

大代西区 藤田 遊子

一億の夢を背負ひて 翔び発ちし
鳩は救わむ ノアの方舟
島の木の 全てを斬りし 島民は
モアイ象残し 島を去りたり

大代西区 藤田 遊子

強制し 万里の長城 築きたる
始皇帝の御代 拾年で滅びぬ
堕ちて尚 日本の国を 沸かせたる
美女は恰も 小町の如し
春風の 花野に遊ぶ 幼らに
睨と渡さむ 平和な未来

ふれあい俳句

大代西区 松浦 富男

孫嫁の 優しき 手肩に 敬老日
妻逝つて 早や 七年 秋彼岸
つぎつぎと 追越されて 行く 大花野
名月や つぼの 碑ぬつと 仁王立ち
歯切良き ハウゼ 夜長に 独り聞く
笠神西区 本郷 勝子
秋運河 風にぎしぎし 舟泊り
神官の 篠笛響き 十五夜に
新蕎麦の 懐石田舎 レストラン
天も地も 枯れ急ぐ 夕暮孤独
茸狩り オリジナル料理で 舌を打つ
八幡 森 季子
満月や 水琴窟の 音澄みて
お月見の あんどん揺らぐ 野草園
星月夜 お前も 氣象 衛星か
どうだんの 赤極まりて 端居かな
秋高し 低空飛行の ヘリコプター